科目コード	記号	科　目　名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態
8506	AO05	インターンシップ　：Internship	1,2	2	必修	実習
教　員　名		指導教員・専攻科主任				

授業概要

企業などでの長期にわたる種々の就業体験を通し、実務問題の理解と対応能力を身に付けることを目的とする。また就業体験を通して、仕事の進め方、社会人としての接し方を学び、社会が要求し期待する職業人としての技術者像を確立する。原則として夏季休業期間中に3週間以上企業等に行き、就業体験をする。就業体験を報告書としてまとめ、その内容を発表する。

到　達　目　標	評　価　方　法	評価配分
(1)実務問題を理解し、その問題に対応できる。	(1)報告書により評価する。	30%
(2)就業体験における成果を報告書にまとめることができる。	(2)報告書により評価する。	30%
(3))就業体験の概要を発表できる。	(3)報告会により評価する。	40%

学習・教育目標	(A)③	JABEE基準1(1)	(d)－(2)－d)

通　　年
内　　容

授業計画

インターンシップの概要

・実習期間は、1年次又は2年次の夏期休業期間を原則とし、3週間以上とする。
・実習テーマ及び実習期間は実習先から提示されたものを基本とし、指導教官と実習先とで協議の上決定する。
・事前指導として、社会人として守らなければならない基本的なルールの徹底と心構えについて指導を行う。
・指導教官は、必要に応じ状況の把握と指導を行うものとする。
・実習中に日々の実習内容をインターンシップ実習日誌に記録し、実習先の点検を受けた後、本校へ提提出する。
・実習先の担当者は、実習終了時にインターンシップ実習日誌に記録し、実習先の点検を受けた後、本校へ提出する。
・実習先の担当者は、実習修了時にインターンシップ証明書を作成し、本校に提出する。
・実習終了時にインターンシップ報告書を作成し、実習先と本校へ提出する。
・実習終了後、インターンシップ報告会において実習内容を発表する。
・実施期間中に知り得た企業秘密等については、絶対他に漏洩しないこと。
・実習は原則として無報酬とする。
・事後指導として、全員の実習修了後報告会を開催し、問題点や改善点があれば問題解決のための方策を講じる。

主なスケジュール

４月 ５月	受け入れ企業等の調査と提示
６月	受け入れ企業とのテーマや日程の調整
７月	事前指導
８月 ９月	インターンシップ実施
10月	インターンシップ報告書の提出
11月	インターンシップ報告会

関連科目	
教　科　書	
参　考　書	過去のインターンシップ報告書
授業評価・理解度	インターンシップ実施後、アンケートを行う。
備　　考	